

TEAM
MASSA-R

真夏の熱風 8時間

～鈴鹿8耐野郎 3年目の挑戦～

2016 鈴鹿8時間耐久ロードレース
参戦企画書
2016年2月

オヤジたちの、「意地」からの「闘己」。

現在のバイクブームを牽引しているのは、40代から50代。

この世代が只の「オヤジ」と見られるか、「勢いのある世代」と見てもらえるか。

それは各々が、日々どんな行動（アクション）を起こしているかにかかっている。

同世代に「まだまだやれる」勇氣と希望、若者世代に「自分もやってやる」という情熱を。

そんなコンセプトを掲げ、2014年ショップ代表が集まりチームを結成し、鈴鹿8時間耐久への挑戦が始まりました。

この2年間で多くのスポンサー様・個人サポーターの方々と知り合うことが出来ました。3年を一つの節目と考え、結果（クラス優勝）を残すことが今年の目標であり、応援してくださる方々への恩返しと考えます。

初年度は、オヤジたちが本気で挑戦する、2年目は、負けて悔しいオヤジの意地を魅せる、そして今年は 好敵手や自分自身と 闘い貫く。

このオヤジたちの「意地」からの「闘己」の挑戦に、ご支援・ご協力いただければ幸いです。

TEAM MASSA-R

チーム代表 茂木 正人



闘己一番星

鈴鹿8耐参戦エピソード

「来年もやる！上を目指す！！！」
・・・2014年初参戦し、完走後にライダー・クルー全員が心に誓った言葉。
その為に出来ること・・・それは、マシン準備・体制整備・あらゆる事を熟成させることだ。

2014年8耐終了後から早速動き出す。
まずは、初年度の参戦を支えてくれた仲間、そして協力していただいたメーカー様・スポンサー様に報告、それと共に来年の宣言・・・
同時に、参戦マシンの手配を行った。車体は2015年モデルYZFR1！

おやじ達は本気（マジ）だった！「必ず上を目指す！！！」
マシンカラーは勿論「汚れた英雄」に登場したTZ500カラー。ゼッケンNo. 62。

出来る限りの熟成を行い、迎えたレースウィーク・・・。

今回から予選落ちが出る程の参戦台数になったSSTクラス。昨年は上位クラスに参戦していたチーム（ファクトリー）が同クラスに来たことにより、波乱を呼ぶことも覚悟した・・・しかし今年は違った！
歳月をかけてチーム体制の整備・マシン作りを行なったこともあり、クラス8位にて無事予選通過（2分13秒743）。

改めてライダー・クルーたちと暗黙の中で誓った。「上を目指す！」と。

そして決勝・・・

昨年の豪雨によるスタートディレイとは異なり、晴天だ！
8耐の神様が微笑んでくれているかのように・・・。
しかし、8耐の神様はおやじ達を試しに来た。どうやら微笑みではなく不敵な笑みだったかのように・・・。

スタート直後の燃料系トラブルによるストール・・・。順位は一時総合60番台に。
「それでも諦めない！！！」
メカニックの賢明なピットワークにより素早く復帰することが出来た。

今年の鈴鹿8耐はとにかく暑かった。
灼熱の耐久と呼ぶにふさわしい天候であった。
この灼熱の日光が、ライダーたちの体力を蝕む。そんな中、転倒者続出でフルコースコーション。

そんな中、おやじ達は違った。
若手のライダーとは異なり、人生経験は豊富だ。耐えることもよく知っている。
それが幸いし、茂木・岡田・嶋川の各ライダーが、確実に個々のステイントをこなしていったことで、着実に順位を上げてゆく。
夕方には総合40番台まで回復。
無我夢中でアタックを続け、目の前のマシンを抜くことだけに徹した。

そして訪れるチェッカーフラッグ・・・。

気が付けば、一時総合60番台まで下がった順位も、チェッカー時は総合41位・SSTクラス6位だった。

煮え切らないおやじ達。
熱い眼光の中は、既に次を見据えていた・・・。

「来年こそは、上に立つ！！！」

おやじ達の熱い闘いは続く・・・



「鈴鹿8耐」とは？

開催日 7月28日（木）～31日（日）

「鈴鹿8耐」とは？= 正式名称は「鈴鹿8時間耐久ロードレース」

1978年から30年近く開催されており、世界中の各国を転戦する世界耐久選手権シリーズのうちの1戦でもある。「MOTO GP」(※いわばオートバイ版の「F1」)に参戦するワールドクラスの選手や、全日本選手権のトップライダーをはじめ、バイクショップチーム(プライベート)など、多種多様なライダーが参戦する耐久レース。



真夏の鈴鹿を、8時間でコースを何週出来るかという過酷なレース

8時間という通常レースの10倍以上の時間を走るため、1人で走るのではなく、1台のマシンを2人～3人のライダーが交代しながら走る。近年8耐では、日中の最高気温は35度を超え、路面温度は60度を超える。この人間にとってもマシンにとっても過酷な環境下で、8時間のうちにコースを何週できるかで順位を競いあう。



メカニックの力、スタッフのチームワークも非常に重要

耐久レースにおいては、給油やタイヤ交換の作業時間をいかに短くするか、どのタイミングでピットインさせるかなどのレース構成等、組織の団結とチームワークを最も必要とする。

さらには事前のマシン製作も、最も重要な要素のひとつである。各ライダーが、スプリントレースなみの速さと安定性で8時間を走り切れるマシンを製作しなければならない。ライダーの転倒のリスクもさることながら、毎年相当数のチームがマシントラブルでリタイヤを余儀なくされている。したがって、鈴鹿8耐を「完走」すること自体に、大きな意味が生まれるのだ。



メディアの露出が多く、イベント性の高い華やかなレース

ホンダ、ヤマハ、カワサキ、スズキの国内4大メーカーに加え、BMW、ドゥカティ、KTM、アプリリアといった海外メーカー、またワールドクラスのライダーも参戦するため、国内メディアだけではなく海外のメディアでも大きく取り上げられる。

レースと同時進行して、場内では様々な企画が催されるため、ファミリーでの来場も多い。特に昨年はMotoGPチャンピオン経験を持つケーシー・ストーナー選手や、ヤマハファクトリーから現役MotoGP選手の参戦もあり、来場者はレースウィーク中、12万人を超えた。また現地で見ることができないファンのために、BS放送による生中継も行われている。モータースポーツ誌でも大きく取り上げられ、国内のオートバイレースの中では最もメディアへの露出が多いレースのひとつである。



2016 FIM 世界耐久選手権シリーズ “コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8時間耐久ロードレース

レース出場計画

① 選抜レース（鈴鹿2&4）



- 4月23日（土）、24日（日）鈴鹿2&4レース
- 選抜レース<8耐トライアウト>参戦

② 選抜レース（鈴鹿サンデー）



- 5月7日（土）、8日（日）鈴鹿サンデーロードレース
- 8耐選抜レース<8耐トライアウトファイナル>参戦

③ 鈴鹿8耐

- 7月28日（木）～31日（日）鈴鹿8耐
- 鈴鹿8時間耐久ロードレース 参戦

第1ライダー 茂木 正人 (Mogi Masato) バイクショップ「茂木二輪工房」 代表

1967年生まれ・49歳。群馬県出身。

18歳でレースデビューし、22歳でジュニア昇格、24歳で国際昇格。
その後活動休止して以降41歳にして、13年ぶりに鈴鹿のレースに出場
(鈴鹿4時間耐久レース)。その後国際ライセンスに再昇格し、43歳にして
16年ぶりの鈴鹿8耐出場を果たす。MFJ公認インストラクターとしても活躍。
2013年、オートバイショップ茂木二輪工房をオープン。

<主なレース実績>

- 1985 筑波サーキットでRZ250RRでレースデビュー
- 1990 全日本選手権RRジュニア250クラス ランキング3位
- 1991 国際A級昇格 全日本選手権250クラス参戦
- 1992～94 鈴鹿8時間耐久 出場
- 1995 一時レース活動休止
- 1997 T.O.T.(テストオブ筑波)にてレース再開
- 以降 毎年筑波・もてぎのイベントレースに参戦
- 2012 もてぎ7時間耐久ロードレース 優勝
- 2010～12 3年連続アプリリアRSV4にて鈴鹿8時間耐久 完走
- 2014～15 鈴鹿8時間耐久 完走(マシン:ヤマハ YZF-R1)



第2ライダー 岡田 年晃 (Okada Toshiaki) 二輪総合サービス事業「ARS (アクティブレーシングサービス)」 代表

1970年生まれ・46歳。神奈川県出身。

16歳で二輪免許取得、大垂水峠では名の知れた峠小僧となる。
28歳でバイク熱が再燃しGPZ購入。2006年、36歳でZR1200
フルカスタムに没頭。その後サーキットに目覚め、39歳でレースデビュー。
アラフォーの遅咲きレーサーながら、デビュー4年目・43歳にして国際ライセンス
を取得。念願の鈴鹿8耐参戦の権利を手にした。

<主なレース実績>

- 2009 筑波ツーリスト・トロフィー NMクラスにてレースデビュー
- 2010 筑波ツーリスト・トロフィー 参戦(マシン:Aprilia RSV4)
- 2012 筑波ロードレース選手権、もてぎロードレース選手権 参戦
- 2013 筑波ツーリスト・トロフィーinMARCH GSX-R MASTERS 優勝
- もてぎロードレース選手権 JSB1000 ランキング3位
- もてぎロードレース選手権 オープンチャレンジ ランキング2位
- 鈴鹿4時間耐久ロードレース 参戦(マシン:ヤマハ YZF-R6)
- 2014～15 鈴鹿8時間耐久 完走(マシン:ヤマハ YZF-R1)



第3ライダー 小室 旭 (Komuro Akira) チームコムロ 代表

1977年生まれ・39歳。埼玉県出身。
2014年まで全日本選手権の小排気量クラスに参戦。筑波サーキットを中心にアドバイザーとしても活躍。2015年には若手ライダーのメカニックとして経験を積み、ランキングアップに貢献。また、「バイクに乗ろう!バイクで遊ぼう!」を合い言葉に積極的にイベントを開催し、幅広い層に向けてバイクの楽しさを伝える活動を行っている。

<主なレース実績>

- 1996年 ロードレースデビュー
- 2000年 国際ライセンス取得 イーストエリア選手権 GP125 ランキング2位 鈴鹿NGK杯優勝
- 2002年 全日本選手権 GP125ランキング 6位 WGP鈴鹿、もてぎ出場
- 2005年 全日本選手権 GP125ランキング 9位 鈴鹿8時間耐久ロードレース出場
- 2006年 全日本選手権 ST600参戦 鈴鹿8時間耐久ロードレース出場
- 2008年 全日本選手権 GP125プロト参戦 GP-MONOスポット参戦し鈴鹿優勝
- 2010年 全日本選手権 GP-MONO ランキング2位
- 2013年 全日本選手権 J-GP3 ランキング6位
- 2014年 全日本選手権 J-GP3 ランキング7位

ライダー & メカニック 紹介 (2)



メカニック 高山 康宏 (Takayama Yasuhiro) バイクショップ「T.T.MOTO」 代表

1967年生まれ・49歳。東京都出身。
フライス・旋盤などの工作機械を使用した、パーツ製作・修理・調整の経験を生かし、2000年より輸入バイクのショップにメカニックとして従事。
2006年よりT.T.MOTO設立。自社にて内燃機(エンジン)の修理・加工・チューニングを行い、外車・旧車からレース車両まで、幅広いオーダーに対応する。デイトナ・スピードウェイ(アメリカ)や、マン島T.T(イギリス)等、海外レース経験も豊富。

<近年の主なレース実績>

- 2009～ もてぎ7時間耐久ロードレース参戦 (チーム:T.T.MOTO)
エンジン/車体制作・メカニック・ライダー担当
- 2012 全日本ロードレース ST600クラス フル参戦 (チーム:T.T.MOTO)
エンジン制作・メカニック担当
- 2012 T.O.T.(テイストオブ筑波) 神楽月の陣
- 2013 T.O.T.(テイストオブ筑波) 皇月の陣/神楽月の陣
HERCULESクラス 優勝(3連勝)
(チーム:BORG&D:REXwith MERVERICK)
エンジン制作・メカニック担当
- 2014～15 鈴鹿8時間耐久 参戦

メディア露出

2014～15年に鈴鹿8耐に参戦した「TEAM MASSA-R」に関連する記事が、紙面媒体およびwebサイトに掲載されました。幅広い層に向けてアピールが可能です。

ヤマハ 鈴鹿8耐スペシャルサイト



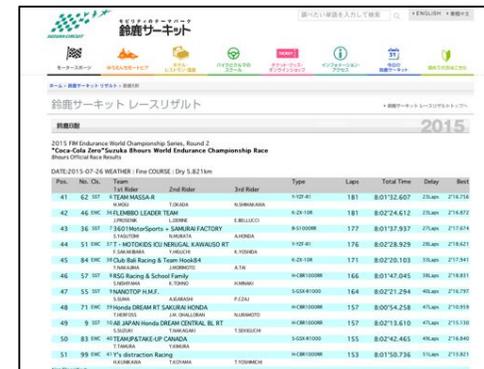
<http://global.yamaha-motor.com/jp/race/2014suzuka8h/team/62/>

ヤマハ 鈴鹿8耐スペシャルサイト



<http://global.yamaha-motor.com/jp/race/2014suzuka8h/report/>

鈴鹿サーキットwebサイト



http://www.suzukacircuit.jp/result_s/2015/8tai/0726_8tai_f.html

鈴鹿8耐公式プログラム



雑誌：ライディングスポーツ 10月号



茂木二輪工房ホームページ



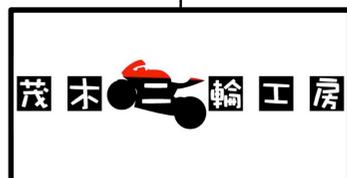
<http://mogi-2rin-koubou.in.coocan.jp/>

ショップ結集のチームだからこそ出来ること

「TEAM MASSA-R」チーム体制



チーム代表 茂木 正人
〒379-2117
群馬県前橋市二之宮町1244-1
TEL/FAX : 027-268-3999



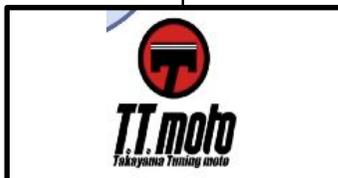
- ・ジュニア育成
- ・ミニバイクレース
- ・T.O.T参戦
- ・もて耐参戦

茂木三輪工房
〒379-2117
群馬県前橋市二之宮町1244-1
TEL/FAX : 027-268-3999



- ・全日本JSBもてぎ
- ・地方選手権参戦
- ・バイク/レースの
楽しさ伝承

ARS (アクティブレージングサービス)
〒190-1212
東京都西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷555-1
TEL : 042-557-8872
FAX : 042-556-6684



- ・全日本メカニック
- ・海外レース経験豊富
- ・エンジンチューニング

T.T.MOTO
〒208-0021
東京都武蔵村山市三ツ藤3-14-3
TEL : 042-520-8590
FAX : 042-520-8591



- ・全日本選手権参戦
- ・若手ライダー育成
- ・バイクの楽しさを
伝える活動

高い運営力・宣伝効果

ショップの力を結集させ、
チームの運営力を高めます。
また、1ショップでは成し得ない
宣伝効果を生み出します。

同世代への強いアピール

各ショップ代表が長年にわたる
レース経験を「武器」とし、
現在のオートバイブームを牽引
する40～50代へのアピールに
つなげます。

幅広い層へのアピール

さらに、若年層へのアピール・
各ショップの顧客へのアピール・
業界全体へのアピールにつなげ
ます。

2015年 鈴鹿8耐 実績

2015 鈴鹿8耐 リザルト

- 結果 予選：SSTクラス 8位 (総合39位)
決勝：SSTクラス 6位 (総合41位)

※参加台数70台中

- バイク ヤマハ YZF-R1
- クラス SST (スーパーストック)
- ゼッケン No. 62

[決勝レポート] 天候：晴 コース状況：乾燥

11時30分の決勝スタート直後に燃料系のトラブルが発生し、順位を一時的に60番台に落としたものの、メカニックの手によってすばやく修復。その後、猛烈な暑さと転倒者が続出する波乱のレースの中、茂木・岡田・嶋川の3選手が交代しながら、目の前のバイクを徐々に抜き去り、夕方には40番台後半まで回復。その後、さらに猛烈なアタックを続け、19時30分に総合41位で無事チェッカーを受けた。



鈴鹿サーキット レースリザルト

※ 鈴鹿サーキット レースリザルトトップへ

鈴鹿8耐

2015

2015 FIM Endurance World Championship Series, Round 2
Coca-Cola Zero Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
8hours Official Race Results

DATE: 2015-07-26 WEATHER: Fine COURSE: Dry 5.821km

| Pos. | No. | Cls. | Team | Type | Laps | Total Time | Delay | Best |
|------|-----|------|--------------|-----------|-------------|-------------|--------|----------|
| | | | 1st Rider | 2nd Rider | 3rd Rider | | | |
| 41 | 62 | SST | TEAM MASSA-R | Y-YZF-R1 | 181 | 8:01'32.607 | 23Laps | 2'16.756 |
| | | | M.MOGI | T.OKADA | N.SHIMAKURA | | | |

MACHINES: B-BMW, D-DUCATI, H-Honda, K-KAWASAKI, KT-KTM, S-SUZUKI, Y-YAMAHA

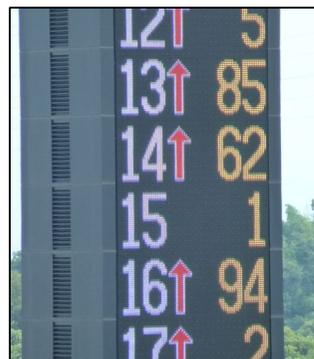
2014年 鈴鹿8耐 実績

2014 鈴鹿8耐 リザルト

- 結果 予選 : SSTクラス 1位 (総合46位)
 決勝 : SSTクラス 4位 (総合54位)
 ※参加台数70台中
- バイク ヤマハ YZF-R1
- クラス SST (スーパーストック)
- ゼッケン No. 62

[決勝レポート] 天候:晴・雨 コース状況:乾燥・湿潤

11時30分の決勝スタート直前に、突然の大雨でスタート進行が中断し、改めて雨の中、12時35分に決勝がスタートした。46番手からスタートし、走行状況が晴天・大雨・セーフティーカー導入など、めまぐるしく変化する中、茂木・豊田・岡田の3選手が交代しながら、常時20番手後半(SSTクラス首位)をキープ。しかし、17時頃にテグナー2つ目のコーナーで転倒し、吸気系やアクセルワイヤーの点検・修理のために40分ほどピットイン。その後レースに復帰し、19時30分に無事チェッカーを受けた。



鈴鹿8耐 2014

2014 FIM Endurance World Championship Series, Round 2
 "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
 8hours Official Race Results

DATE:2014-07-27 WEATHER : Rain/Fine COURSE : Wet/Dry 5.821km

| Pos. | No. | Cls. | Team | 1st Rider | 2nd Rider | 3rd Rider | Type | Laps | Total Time | Delay | Best |
|------|-----|------|----------------|-----------|-----------|-----------|----------|------|-------------|--------|------------|
| 54 | 62 | SST | 4 TEAM MASSA-R | M.MOGI | T.OKADA | H.TOYODA | Y-YZF-R1 | 141 | 6:56'48.594 | 31Laps | R 2'15.214 |

MACHINES:B=BMW,D=DUCATI,H=Honda,K=KAWASAKI,KT=KTM,S=SUZUKI,Y=YAMAHA

"R" Mark is New Course record. Old Course record was (SST) 2'17.033

鈴鹿8耐参戦 ご協賛のお願い

< 必要経費 概算 >

| | |
|-------------------------|--------------------|
| | 想定予算 |
| ● マシン(ヤマハ・YZF-R1)車両代 2台 | ¥3,000,000 |
| ● マシン改造費 2台 | ¥3,000,000 |
| ● マシンパーツ・消耗品、燃料代 | ¥1,000,000 |
| ● オイル代、タイヤ代(テスト走行分含む) | ¥1,500,000 |
| ● ライダー装備品、スタッフ装備品代 | ¥500,000 |
| ● テスト走行代、サーキット往復交通費、宿泊費 | ¥700,000 |
| ● レースエントリー代、ピット設営費 | ¥300,000 |
| 合計 | <u>¥10,000,000</u> |



※人件費を省いても、8耐のスタートを迎えるまでに、最低でも上記の費用がかかります。

気合と根性で育った世代の我々が、今の若者達に見せつけてやれるものは、理屈や理論以上に、「やってやる!」という気合と「負けないぞ!」の根性がまず大事であると思っています。

今年もオートバイ大好きなオヤジ達が集まり、世界選手権に挑戦します。真夏の暑さに負けず、熱い走りを行います!

ショップの力を集結した「オヤジ」たちの「闘己」の挑戦に、ご支援・ご協力をお願いいたします。

特典

3万円以上ご協賛していただいた方には、オートバイのカウル部分にお名前を記入させていただきます。



2015年 スポンサー様

今年もサポーターTシャツ販売します。



2015年 サポーターTシャツ

※2016年はデザイン中です。

CLUB MASSA-R & 茂木二輪工房 2016年レース参戦日程

| 月 | 日 | 場所 | レース名 |
|-----|-----------------|---------------|-----------------------------------|
| 3月 | 12日 (土) | 筑波サーキット | 2016 筑波ロードレース選手権シリーズ 第1戦 |
| | 19日 (土)・20日 (日) | ツインリンクもてぎ | もてぎロードレース選手権 第1戦 |
| | 20日 (日) | 榛名モータースポーツランド | ノブアツ杯 第1戦 |
| 4月 | 9日 (土)・10日 (日) | 筑波サーキット | 2016 メタルマスター METAL MASTER |
| | 16日 (土)・17日 (日) | ツインリンクもてぎ | もてぎロードレース選手権 第2戦 |
| | 23日 (土)・24日 (日) | 鈴鹿サーキット | 鈴鹿2&4レース 選抜レース<8耐トライアウト> |
| 5月 | 7日 (土)・8日 (日) | 鈴鹿サーキット | 鈴鹿サンデーロードレース 選抜レース<8耐トライアウトファイナル> |
| | 22日 (日) | 榛名モータースポーツランド | ノブアツ杯 第2戦 |
| 7月 | 9日 (土)・10日 (日) | ツインリンクもてぎ | もてぎロードレース選手権 第4戦 |
| | 28日 (木)～31日 (日) | 鈴鹿サーキット | “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース |
| 8月 | 6日 (土)・7日 (日) | ツインリンクもてぎ | もてぎオープン7時間耐久ロードレース“もて耐” |
| | 7日 (日) | 榛名モータースポーツランド | ノブアツ杯 第3戦 |
| | 20日 (土) | ツインリンクもてぎ | もてぎロードレース選手権 第5戦 |
| 9月 | 4日 (日) | 榛名モータースポーツランド | ノブアツ杯 秋耐 |
| | 24日 (土)・25日 (日) | ツインリンクもてぎ | もてぎロードレース選手権 第6戦 |
| | 25日 (日) | 榛名モータースポーツランド | ノブアツ杯 第4戦 |
| 11月 | 6日 (日) | 筑波サーキット | テイスト・オブ・ツクバ KAGURADUKI STAGE |
| | 6日 (日) | 榛名モータースポーツランド | ノブアツ杯 第5戦 |